

コロナ「第6波」備え

新型コロナウイルスの新規感染者が全国で80000人を超えるペースで増えています。東京都でも感染が急速に拡大

都が「日本医療機関への病床確保のルールを一か月以上守らなければ、上位の診療料金を決めました。昨夏の第5波では、「医療崩壊」が起き、全国で自宅療養者を13万人超も出す事態となりました。患者が日本に置き去りにされた第5波での失策を繰り返さないよう、第6波はどう防ぐのか。立川相互病院（東京都立川市）の感染対策チームに所属し、口呼吸患者を治療する南條達也医師（38）に話を聞きました。（小林圭子）

東京・立川相互病院医師  
南條嘉宏さん

南條嘉宏さん

12月に新規口内の飲  
酒者数（総口数）が特  
別承認され、登録した医  
療機関・薬局に届かる配  
分されねばとなりまし

## 予想上回る感染急増

る状況ではなれどす。  
同市で経口薬を処方せん  
る薬局は現在60カ所しか  
ありません。薬局も24時  
間対応を求められてお  
り、登録を認証(けいしゆう)  
せたうえで、  
とにかくしてこなしてお  
くれる薬はわざわざ、由  
内で使れる薬は限られて  
しまわ。休日は困からぬ  
配達がない、8~10月の  
3連休での治療の連れもの  
懸念材料ですよ。

立川相互病院のコロナ病棟から（写真は病院側提供）＝2021年

感染率がそれ以上で、あれ  
ば重症者が増えて医療崩壊  
になりかねません。医療  
崩壊を起さないよう、  
感染率を減らすしか何  
よりも大事です。

**65歳以上は軽症でも  
本來入院すべきだ**

め、かうい治療はできま  
せん。翌日に治療開始す  
るためには午後3時まで  
に発症する必要がありま  
す。

都からの軽症者の入院  
要請は午後3時以降が多  
いです。7日に入院した  
60代の方も午後3時以降  
で、間に合いませんでし  
た。3週休は国の配慮が  
ないため、届くのは二日  
以降になります。経口薬  
の使用は発症から5日以  
内であり、この方だけは結  
局使えませんでした。

この方は50歳以上の高  
齢者は軽症であつても本  
體で基礎疾患もありま  
す。保健所はホテル療養  
を始めたようですが、本  
人が強く希望して入院に  
なりました。國や都是医  
院化リスクがある人でも  
軽症者は家で。薬を飲  
んでおり、市中で治療  
する用意をしている印象  
です。

現場に危機感

昨年末に約3カ月あり  
にコロナ患者が一人入院  
し、年明け二日までやれ  
てから人増えました。院  
内では、年末からの新規  
感染者増加を踏まえ、今  
月17日㈰にコロナ病床  
を十数床に増やす予定で

若年への販の頭の波  
の要因として、テルタ株  
の出現に加え、「安泰安  
心」をうたうオーラ・ソリ  
クを强行したことなどが挙げ  
られます。オーラ・ソリック  
の躍進で、国際の感染対  
策の意識が薄弱だと見え  
てしまう。國や都道府  
先手の対策や危機感を共  
有できる環境をしてしまっ  
てしまつた。